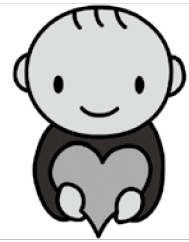


こころらぼ



スクールサポーター
(臨床心理士)
小林 真理

「みんなと一緒 でも一人ひとりを大切に」

それぞれが希望や決意を胸に、新しい環境や生活に臨む4月。今までと違った環境や新しい出会いもあることでしょう。そこで今回は、インクルーシブ教育に関する、ひとつの考え方を紹介します。

障害者の権利に関する条約第24条の基本的な方向性として『障がいのある子どもと障がいのない子どもが、できるだけ同じ場で共に学ぶことを目指すべき』と、説明がされています。

これは「みんなと一緒」ということと同時に、最も本質的な視点として、『それぞれの子どもが、授業がわかり学習活動に参加している実感・達成感を持ちながら、充実した時間を過ごしつつ、生きる力を身につけていけるかどうか』と、「一人ひとりを大切にすること」を重要な理念としてあげています。そのた

めの環境整備、教育・医療・保健・福祉・労働等との連携の強化、生活する地域の同世代の子どもの人々との交流を通して地域基盤を作っていくこと、特別支援教育や障がいへの理解をすすめていくことが重要だとしています。

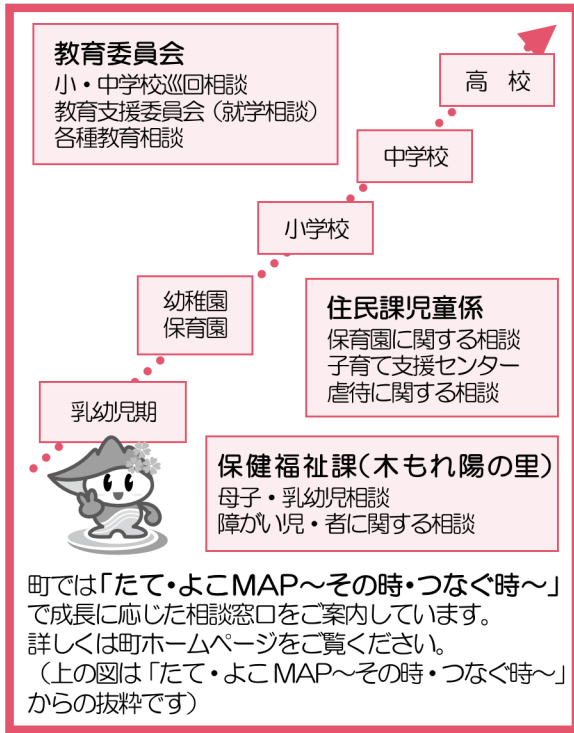
このように社会全体の様々な機能を活用して障がいのある子どもの教育の充実を図ること、同時に全ての子どもが十分な教育を受けられるようにすることが求められています。

どの子どもにも言えることですが、特に「一人ひとり」を大切にするために具体的なこととしては、乳幼児期など早期からの相談・対応と、子どもの発達段階

や成長に沿った継続的な相談・対応です。そして、家庭と共に地域・幼保・小・中・高その先と、その時々々の環境と、それぞれの発達段階で培った「一人ひとりの育ち」を「つなぐ」ための協働が大事です。

様々な立場から、それぞれのできることで、このことを支えていけるといいですね。

参照：文部科学省 共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（報告）概要



植物園だより

植物観察会とギャラリートークのお知らせ

とき

4月19日(日)
10時30分から
11時30分まで

講師

植物園園長

内容

植物園が取り組む希少植物の保存活動や、見頃の植物について紹介します。観察会終了後、ミニ企画展の見どころを紹介します。

参加料

入園料のみ

※申し込み不要

*天候状況等により時間の短縮や観覧会を中止にする場合があります。

●春のミニ企画展 「軽井沢に自生しない石川の植物」開催のお知らせ

とき

4月18日(土)から
5月24日(日)まで

ところ

植物園展示館

内容

日本海側の地域に見られる植物などについて紹介します。

参加費

入園料のみ

※入園料

小学生以上
1人1回100円



カタクリ

今月上旬から中旬に、かつて片栗粉をとる植物として珍重されたカタクリが見頃を迎えます。

◆4月花ごよみ

上旬

アズマイチゲ、アメリカミズバシヨウ、シヨウジョウバカマ、ナンブイヌナズナ、ミズバシヨウ

中旬

オオヤマカタバミ、エイザンスミレ、キクザキイチゲ、コブシ、タツソウ、ヒトリシズカ

下旬

アカヤシオ、オオヤマザクラ、シナノタンポポ、トガクシソウ、ミツバツツジ、ミヤマトサミズキ
(※主なものを掲載)

【問い合わせ】

植物園 ☎48・3337